

都道府県別指導体制状況(令和6年3月31日現在)

※GAPについて、高い水準で指導できると推定される指導員数(指導に必要な知識を習得するための研修を受講し、3件以上の指導実績がある者の数)

(単位:人)

都道府県	指導員数
北海道	359
青森県	147
岩手県	53
宮城県	14
秋田県	46
山形県	209
福島県	295
茨城県	224
栃木県	71
群馬県	16
埼玉県	116
千葉県	70
東京都	47
神奈川県	25
山梨県	17
長野県	147
静岡県	123
新潟県	80
富山県	59
石川県	137
福井県	48
岐阜県	134
愛知県	166
三重県	218
滋賀県	40
京都府	95
大阪府	27
兵庫県	63
奈良県	21
和歌山県	17
鳥取県	5
島根県	89
岡山県	11
広島県	13
山口県	51
徳島県	28
香川県	61
愛媛県	76
高知県	63
福岡県	174
佐賀県	49
長崎県	20
熊本県	73
大分県	127
宮崎県	137
鹿児島県	27
沖縄県	58
合計	4,146

出典：農林水産省農産局農業環境対策課調べ（都道府県から聞き取り）